



▲生涯学習2号館 歴史資料室



古庄 信一郎 議員

歴史資料館

ボタ山か榎の周辺に 答弁…整備する時期が来た

古庄 町の歴史資料室が機能しておらず、歴史観が疑われる。ボタ山、榎周辺に、解体される志免保育園を移設するか、新たに、地域の歴史資料館を造れば、3町共有のボタ山も歴史ある鉱業所、

立坑榎も活きる。全庁舎機能の精査を行い、短期長期計画をたてるべき。町長 整備する時期が来た。庁舎機能の見直しも一緒に検討委員会を設置し方向性を見出したい。

災害基金組合解散は 答弁…有効活用の為解散

古庄 東北の大震災を受け、自治体間の連携の必要性が問われている最中、昭和48年に県内市町

村が災害充当費用を互助共済で当てるため設立した県市町村災害共済基金組合の解散報道がされた。

福岡県の全自治体が基金を持って絆を築き上げてきた。

なぜ解散なのか。

町長 国の財政支援措置が拡充し、市町村の財政が厳しい状況下、解散配分し有効活用するため。